

精神・発達障害者しごとサポーター養成講座を全社員受講

障害の特性学び 労働環境改善へ

エネジン、全社員に講座

LPガス販売のエネジン（浜松市）は、ハローワーク浜松（浜松公共職業安定所、同市）による「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」を同社本社で開催した。

従業員に障害の特性などを把握してもらうことで、障害者と共に働く上で求められる気配りなどのスキルを身に付けてもらう。8月上旬までに、

全社員約200人を対象に講座を開く。

講座は7月28日に開催した。同社は7月末時点で5人の障害者を雇用しており、今後も積極的に採用を行う予定。担当者は「過去に短期間で離職してしまうケースがあったことから、まずは労働環境を改善しようと開催を決めた」と話す。講座では、障害者の就職件数が近年増加していることや障害特性に応じて求められる配慮が異なることなどを学んだ。

エネジンの社員が障害者への理解を深めるために、『精神・発達障害者しごとサポーター養成講座』を受講した記事が掲載されました。

ハローワーク浜松の精神障害者雇用トータルサポーターの担当者を講師に迎え、障害者への配慮のポイントや、接し方の具体的な事例を学びました。障害者が安定して長く働ける職場環境にしていくために、職場内のサポーターを増やしていきます。

エネジンは、SDGsの考えから、誰一人として取り残さないという取り組みを、地域の皆様とともに進めてまいります。

令和5年(2023年)8月2日(金) 日本経済新聞

